

市の将来都市像

人と地域が主体のまち
人が集まり、豊かに
すごせる魅力あるまち
活躍する人が育つまち

市長、市議会、町田市選出の 都議会議員が 東京都に対し8項目を要望しました



市議会議員、副議長、都議らと共に福永副知事に要望する寺田市長

寺田市長は市議会の大塚議長、中山副議長、町田市選出の小磯、真木、吉原都議会議員とともに8月2日、東京都の多摩島しよ振興対策担当の福永副知事を訪ね、来年度の予算編成に対し、8項目の要望書を提出しました。市では各市共通のテーマについて、東京都市長会を通して様々な要望をしていますが、今回は都の協力や支援が必要不可欠な事項について、市として独自に要望したものです。要望内容の概略は次のとおりです。

- 1 市内幹線道路の整備促進について**
市内を通る、都県や隣接市を結ぶ東西の道路および南北の道路である主要な幹線道路は都道で形成されており、これらの道路は朝夕はもとより一日中慢性的な渋滞を引き起こしているため、道路整備に対する市民の要望は常に高いものがある。現在事業中の幹線道路の整備促進と、未着手道路の早期着手および現在施行している「交差点すいすいプラン100」事業・「バスベイ設置」事業の継続を、
- 2 町田警察署分署および交番の増設について**
昨今の犯罪の凶悪化、若年化と
- 3 厚木基地による航空機騒音に対する測定器(固定)の増設について**
防衛施設庁の行う「防衛施設周辺の整備に関する法律」に基づき住宅防音工事区域見直しに向けて、航空機騒音被害をより的確に把握するため、航空機騒音測定器(固定)1か所の増設を。
- 4 都立小山田緑地・大戸緑地の用地取得及び整備促進について**
都立小山田緑地の事業認可区域内の事業促進及び先行買収が停滞している都市計画緑地「大戸緑地」の用地買収の再開と先行買収地の早期整備を。
- 5 応急給水体制等の確立について**
市内には給水拠点から2キロを超える地域があり、こうした地域の住民に対して応急給水体制の確立を。また、災害時の給水と復旧のため神奈川県横浜市及び川崎市との間で水道連絡管の整備を。
- 6 町田市北部丘陵地域の農を中心としたまちづくりに関する補助について**
周辺が都市化されたなかで、まわりのある農地や里山等の自然が残る貴重な当該地域の農業基盤整備・緑地保全への補助を。
- 7 2級河川境川整備の促進について**
市街化の進展や集中豪雨により浸水被害が発生している。総合治水対策特定河川である境川の治水安全度の向上に向け、河川の改修整備促進を。
- 8 里山保全地域の早期指定について**
多摩丘陵の保全のための拠点として、三輪区域、小野路区域、小山田区域の里山保全地域の早期指定と用地取得を。

日大三高が夏の甲子園へ 健闘を願って 壮行会を開催しました



7月28日、日大三高が夏の高校野球西東京大会で優勝し、第86回全国高校野球選手権大会の西東京大会に出場を決めました。市では日大三高の健闘を願って8月3日、ぼっぴ町田正面広場で壮行会を開催しました。

寺田市長が「丸となって青春のすべてをぶつけてきてほしい。全市民が勝利に向け応援します」と激励すると、小倉監督は「今年も素直な選手ばかりです。まずは1回戦を勝ち抜き優勝を目指してがんばりたい」、秦主将は「一戦一戦勝ち抜き、優勝旗を持って帰りますので、応援をよろしくお願います」と決意を述べました。

着工式が行われました

故・遠藤周作さんの遺品の寄贈をきっかけに、1998年以来検討が重ねられてきた文学館の建設本工事は、原町田4丁目の旧公民館施設を増改築し、文学館として再活用するものです。

7月28日に建設予定地で行われた着工式には、寺田市長、大塚市議会議員や作家の森村誠一さんをはじめ、地元商店会、町内会の皆さんなど、たくさんの方々が参加



文学館の完成予想図



着工式であいさつする寺田市長

なお、その他の応募作品については、9月発行予定の「文学館開設準備ニュースNo.2」でお知らせします。

町田市の文学館

町田市民文学館
正式名称が「町田市民文学館ことばらんど」に

町田市民文学館の正式名称が、このほど決定しました。6月に、「町田市民文学館」の後に続く6文字の名称を公募したところ、締め切り日までに73人の方が85件の応募がありました。応募作品の中から、教育長や文学館開設準備懇談会委員などで構成する選考会が、親しみやすさ、明るさ、町田の文学館活動などを考慮して選考した結果、市内に住まいの渡辺愛理さんが応募された「ことばらんど」が、名称として採用されました。

小学生のお子さんたちと考えたアイデアを、お母さんが代表して応募されたものです。「ことばらんど」という言葉は、誰でも入りやすそう、というのが応募の理由でした。

地上3階地下2階建て、延べ床面積約2,200㎡。煉瓦造りの文学館は、来年5月に竣工、12月オープン予定です。

文学館開設記念 イベントを開催します

文学館の着工を期に、昨年ご遺族から遺品等のご寄贈をいただいた作家・宮川哲夫さんを偲ぶ記念事業を開催します。宮川さんは、「ガード下の靴みがき」「街のサンドイッチマン」「霧氷」「美しい十代」など、数々のヒット曲で知られ、その多くを町田で作詞されました。

文学館開設記念イベント

「ロイド眼鏡に、燕尾服...町田が生んだ作家・宮川哲夫没後30周年記念展(9月7日~26日)
講演会「街角の詩人・宮川哲夫と昭和30年代」(9月11日)
いずれもお問い合わせは中央図書館(☎728・8220)へ。
メモリアルコンサート(9月15日)
お問い合わせは、町田市民ホール(☎728・4300)へ。